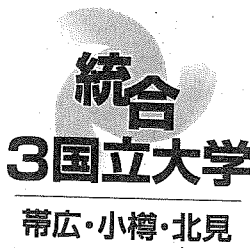


農商工連携へ理事長公募

帯広畜産大、小樽商科大、北見工業大の経営統合で来年4月に発足する運営法人「北海道国立大学機構」(帯広)の合同理事長選考会議は9日、運営法人トップの理事長候補を学外から公募すると発表した。書類選考や面接を経て、10月下旬ごろ候

補を決め、文部科学相の任命を受ける。

3国立大の経営統合は全国初。国立大の学長は、学内からの推薦と公募などで選ぶことが多いが、3大学の均衡ある発展を目指すため、各大学の学長をはじめ学内からの募集は



除外した。選考会議の委員12人のうち、半数は学外者が占める。選考会議は、理事長に求められる人物像として、教育機関や経済・産

組織運営の実績重視

業界の組織運営に携わった実績を持ち、3大学それぞれの強みである農商工の連携を進められる先見性やリーダーシップなどを挙げている。理事長の任期は4年で再任できるが通算6年まで。年収1700万円程度で、帯広の機構本部で常勤する。希望者は履歴書や所信表明書などを9月3日までに北見工大総務課へ送る。問い合わせは、同課20157・26・9111へ。(幸坂浩)

初代理事長候補 学外から公募へ

北海道国立大学機構

小樽商科大、帯広畜産大、北見工業大の3大学が経営統合して来年4月に誕生する「北海道国立大学機構」は9日、初代理事長候補者を学外から公募すると発表した。応募期間は9月3日まで。

理事長は同機構の責任者で、トップとして最終意思決定を担う。審査は3大学の学長選考会議の委員から4人ずつ選出された12人で構成する合同理事長選考会

議が行う。書類審査で5人以内に絞り、面談を行って決定する。任期は4年、再任は2年までで、計6年を超えないとしている。10月下旬ごろに候補者を決め、文部科学相に申し出たあと、文科相の任命を受けて正式決定する。(芳垣文字)